

「国際インターンシップ」「サービスラーニング」 福津市インターンシップ・一風堂 CSR インターンシップ NPO 法人循環生活研究所サービスラーニング合同報告会を 実施しました！

1月23日(月)に、福津市インターンシップ、一風堂 CSR インターンシップ、NPO 法人循環生活研究所サービスラーニングの合同報告会を本学にて行いました。

この報告会のテーマは「学生が『地域』で学ぶことの意義」。現場に入る前は「遠くて、自分たちには関係のない場所」だった「地域」が現場での活動、現場での出逢いを通して「身近で、自分に関係している場所」へ変わっていきました。その経験から「地域」が自分に関係しているということに気づいた私たちは、それぞれのチームで、「地域」について見つめ直しました。そして、そこから見えてきた「地域」はチームごとに異なるものでした。そこで、この報告会で、私たちが感じた「学生が『地域』で学ぶことの意義」を、各現場から呼び出したゲストの方々とともに、パネルディスカッションという形式で深めていきたいと思い、このテーマを設定しました。

65人の来場者を前に、それぞれの活動内容、活動の中で最も困難だったこと、またその困難をどう乗り越えたかを学生がプレゼンテーションした後、それぞれの現場でお世話になっている福津市職員の山下真智子氏、力の源カンパニーチャイルドキッチン担当の栗原理恵氏、NPO 法人循環生活研究所事務局長のたいら由以子氏を交え、「地域」についてパネルディスカッションを行いました。



▲パネルディスカッションの様子

また、会の最後にはお世話になっている先生方よりご挨拶をいただきました。教育学習支援センター長の今井明先生からは、私たちも改革に伴い、福岡女子大学のために尽力していきたいとお言葉をいただきました。今年度、新たに学部編成や全寮制を取り入れるなど、改革を始めた福岡女子大学。私たち学生もただ大学に通うだけでなく、大学のために何かできることはないか考えていきたいと思っています。また、体験学習科目担当教員である和栗百恵先生からは、体験学習を通して主体的に動くことのできる人材になってほしいとお言葉をいただきました。

私たちは1年間体験学習を履修してきて、この1年間は決して平たんな道のりではありませんでした。しかしこの体験学習を通して、何かを自分たちでやり遂げることの素晴らしさに気づき、新たなことに挑戦したいという気持ちがさらに芽生えるようになりました。これからも自分たちにできることは何か、常に考えて行動していきたいと思っています。

各チームのプレゼンテーション、パネルディスカッションの詳細は、以下のURLに載せておりますので、ぜひご覧ください。

【福津市インターンシップ】 <http://www.fwu.ac.jp/reform/pdf/2011fukutsu.pdf>

【一風堂 CSR インターンシップ】 <http://www.fwu.ac.jp/reform/pdf/2011ippudo.pdf>

【NPO 法人循環生活研究所サービスラーニング】 <http://www.fwu.ac.jp/reform/pdf/2011jun-namaken.pdf>

▼プレゼンテーションの様子

